

## ネイティブヒト $\beta$ -N-アセチルグルコサミニダーゼ

Cat. No. NATE-0781

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

この酵素は、時に  $\beta$ -N-アセチルヘキソサミニダーゼと呼ばれ、さまざまな基質から末端の  $\beta$ -結合 N-アセチルグルコサミンおよび N-アセチルガラクトサミンを解放することが報告されています。  $\beta$ -N-アセチルグルコサミニダーゼの活性は、発色基質 p-ニトロフェニル-N-アセチル- $\beta$ -D-グルコサミニドで測定できます。  $\beta$ -N-アセチルグルコサミニダーゼは、末端の非還元性 N-アセチル-D-ヘキソサミン残基を加水分解します。この酵素は、ヘテロ二量体の Hex A と ホモ二量体の Hex B という 2 つの主要なアイソザイムを含んでいます。 N-アセチルグルコサミン、アセトアミド、N-2-アセタミド-2-デオキシグルコシルアミン、N-アセチルノジリマイシン、N-アセチルデオキシノジリマイシンは知られている阻害剤です。

#### 用途

$\beta$ -N-アセチルグルコサミニダーゼは、N-アセチル- $\beta$ -D-グルコサミニドおよび N-アセチル- $\beta$ -D-ガラクトサミニドを加水分解するために使用されるリソソーム酵素です。これは、 $\beta$ -GlcNAc および  $\beta$ -GalNAc の効果的なトランスグリコシル化に基づくオリゴ糖のケモ酵素合成に使用されます。アルツハイマー病を研究するための有用なツールとなる可能性があります。

#### 別名

ヘキソサミニダーゼ;  $\beta$ -アセチルアミノデオキシヘキソシダーゼ; N-アセチル- $\beta$ -D-ヘキソサミニダーゼ; N-アセチル-ペータ-ヘキソサミニダーゼ;  $\beta$ -ヘキソサミニダーゼ;  $\beta$ -アセチルヘキソサミニジナーゼ;  $\beta$ -D-N-アセチルヘキソサミニダーゼ;  $\beta$ -N-アセチル-D-ヘキソサミニダーゼ;  $\beta$ -N-アセチルグルコサミニダーゼ; ヘキソサミニダーゼ A; N-アセチルヘキソサミニダーゼ;  $\beta$ -D-ヘキソサミニダーゼ; 9012-33-3; EC 3.2.1.52

### 製品情報

#### 種

人間

#### 由来

ヒト胎盤

#### 形態

硫酸アンモニウム懸濁液。0.15 M NaCl および 0.1 M リン酸ナトリウムを含む 2.4 M (NH4)2SO4 の懸濁液、pH 6.0

#### EC番号

EC 3.2.1.52

#### CAS登録番号

9012-33-3

#### 活性

6-20 ユニット /mg タンパク質

#### 代謝ルート

他のグリカン分解、特定の生物系；他のグリカン分解、保存された生物系；アミノ糖およびヌクレオチド糖の代謝、特定の生物系；アミノ糖およびヌクレオチド糖の代謝、保存された生物系；グリコサミノグリカン分解、特定の生物系；グリコサミノグリカン分解、保存された生物系；グリコスフィング脂質生合成-ガングリオシリー、特定の生物系；グリコスフィング脂質生合成-ガングリオシリー、保存された生物系；グリコスフィング脂質生合成-グロボシリー、特定の生物系

#### 機能

マンノシル-グリコプロテイン エンド-ペータ-N-アセチルグルコサミニダーゼ活性；ペータ-N-アセチルヘキソサミニダーゼ活性；カチオン結合；加水分解酵素活性、O-グリコシル化化合物を加水分解する；タンパク質ヘテロ二量体化活性

#### 単位定義

1ユニットは、pH 4.25、25°C で、1.0  $\mu$ mole の p-ニトロフェニル-N-アセチル- $\beta$ -D-グルコサミニドを p-ニトロフェノールと N-アセチル-D-グルコサミン に加水分解します。

保存方法

2-8°C